

依頼分析項目と手数料の一覧表

令和6年4月1日以降

	種目	単位	手数料 (円)	分析項目
(1)	土壌及び肥料の定性分析	1件1成分につき	2,070	土性（触感）、土色
(2)	土壌の定量分析	同	8,750	腐植、炭素、有機物（灼熱減量）、電気伝導率、窒素、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、置換酸度など
(3)	土壌の特殊成分の分析 (土壌診断項目・微量要素等、一部有害成分)	同	10,970	交換性石灰（カルシウム）、交換性苦土（マグネシウム）、交換性加里（カリウム）、有効態リン酸（ブレイ法）、有効態リン酸（トルオーグ法）、塩基交換容量、熱水抽出性窒素、培養窒素、緩衝曲線（石灰中和量）、リン酸吸収係数、可給態ケイ酸、銅、亜鉛、マンガン、鉄、ニッケル、ホウ素、ナトリウム、水銀、ひ素、カドミウム、鉛、その他
(4)	土壌の理化学的成分の分析 (土壌の物理性等)	同	6,490	真比重、仮比重、固相重（現地容積重）、土砂分（石礫など）、三相分布（固相・液相・気相）、孔隙量、粗孔隙、礫含量、透水係数、有効水保持能（pF 1 区間につき6,510円）など
(5)	土壌の粘土分析 (粒径組成)	同	8,250	国際法による粒径区分（粗砂、細砂、シルト、粘土）1項目につき8,180円（合計32,720円）、農学会法粘土
(6)	肥料（堆肥など）の定量分析 (NPK、CN等)	同	8,720	有機物（灼熱減量）、炭素、電気伝導率、窒素、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、リン酸、水溶性リン酸、可溶性リン酸、ク溶性リン酸、加里（カリウム）、水溶性加里、ク溶性加里、アルカリ分、肥料の一般物理性（比重、粒径）、単位容積質量
(7)	肥料（堆肥など）の特殊成分の定量分析 (NPK以外の各種成分、有害成分)	同	10,750	石灰（カルシウム）、苦土（マグネシウム）、ナトリウム、ケイ酸、マンガン、鉄、アルミニウム、水銀、ひ素、カドミウム、亜鉛、銅、鉛、ニッケル、チタン、クロム、水溶性フェノール、腐植酸、塩基交換容量
(8)	農畜産物及び飼料の定量分析	同	9,000	粗たん白質、粗脂肪、粗繊維、リン、カリウム、カルシウム、マグネシウム、その他の無機成分など
(9)	酸度、灰分、水分の測定	同	1,980	pH (H ₂ O)、pH (KCl)、粗灰分、水分など
(10)	その他の分析	1件1成分（項目）につき 12,970円以下の範囲において場長が定める額		①農産物の品質分析：アミロース、糖類など（分析に長期間を要する場合があります） ②品種のDNA判定：小麦、水稻、大豆、小豆（および小豆あん）、インゲン豆。
(11)	成績書の謄本	1件	780	正規報告書は1部のみです。さらに部数が必要な場合には謄本として請求して下さい。

注1：お申し込みの際は事前に電話等でご相談下さい。分析項目によっては必ずしも対応できない場合があります。また、所要期間は原則4～6週間ですが、より長期間の場合もあります。

注2：道内に住所を有しない方（法人又は団体にあつては、道内に事務所又は事業所を有しない場合）については、法人の諸料金規程に基づき、料金表の2倍の料金になります。ただし、東日本大震災の被災県（岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県）に住所を有する依頼者については特例規定がありますので、詳しくは相談窓口におたずねください。

注3：たい肥類は水分、窒素、リン酸、加里、炭素、（石灰、銅、亜鉛）の分析が基本です。

注4：種目(2)(3)(9)の分析項目の中で下線を付した項目は、土壌試料に限り、当面の間、分析受付を休止します。